



「深刻なドル離れ2」

いやー暑くなってきましたね、皆さんお元気ですか？

前々回に深刻なドル離れについて言及しましたが、これは最終的にドルの暴落→米国債を150兆も持っている我が国の円への連鎖→輸入停止→食糧危機へとつながっていく重要なことですので、続編をお届けします。

「米ドルの武器化を行うと、結局巨大なブーメランとなってアメリカを直撃する。新興国や独裁国家はドルを決済に使わない、ドル資産を待たないで済むような方策を、一生懸命考えるであろう。その動きはすでに始まっている」ジム・リカードという所で終わりましたが、その具体的な動きが出てきました。

今回もジムリカードさんの受け売りを中心にお届けします。

BRICSが共通通貨発行に向けて協議を重ねており、早ければ来月8月にその発表がなされるかもしれない。との観測が出てきています。（だからあわてて月末に出すメルマガを早めました）

ロシア・中国・ブラジル・インドですと、国土面積で世界7大国のうち4か国が参加することになる。

これは全世界における国土面積の30%を占め、その地下にある天然資源もそれに含まれることを意味する。

また世界の小麦と米の生産量の50%近く、世界の金埋蔵量の15%がBRICSにあり、地球上の人口の40%、32億人がそのブロック圏にいることになります。

しかも前回非常にまずい動きになりそうと言った、サウジアラビアとアラブ首長国連邦、イランが正式にここに加盟申請、こうなると産油国の大半がこちらに入ってしまう、ドルの正当性裏付けていたペトロドル制度が完全に崩壊してしまいます。

おまけにインドネシア、エジプト、アルゼンチンなど5か国も正式加盟申請し、さらに17ヶ国が加盟に関心を示しているとのこと。

アメリカの独善性を苦々しく思っていた国々がいかに多いかという事です。

しかしとは言っても新興国・開発途上国が中心で、先進国が一つも入っていないブロック経済圏の共通通貨なんて機能するのか？

と思われる方もいるかと思えます。通常であればその通りなのですが、どうもその答えは金にありそうです。

最近、金がどんどん上がってきていることはみなさんご存じかと思いますが、その原因の一つが、ロシアと中国がそれぞれ2006年から金準備を3倍に増やしてきたことです。

共通通貨が金本位制を採用するという事であれば、むしろドルより安全となり、話は全く違ってきます。

金本位制は金の産出量が経済成長に追い付かないのが最大の欠点で、特に新興国には向かないと思えますが、部分的導入や加盟国が持つ膨大な地下資源、食糧生産力などをバスケットにすれば可能かもしれません。

資産運用が非常にうまいシンガポールが、今年に入って、狂った様に金を買っているのはこのせいかもしれません。

シンガポールの金準備は21年の127tから23年の226tへと、たった2年でほぼ倍増しています。

勿論スキーム的には可能であっても、本当にインドが西側を袖にしてあちらにいけるのか？一番経済力のある中国が他国の面倒を見るほどの公共心があるのか？強力な通貨を発行するには各国の持つ金をどこか一か所にまとめて中央銀行とし、通貨を発行しなければいけないが、それほどの信頼感が主要国にあるのか？などハードルはかなり高いかと思われれますが、共通通貨を発行できなくてもそれぞれが二国間の通貨で決済しあうだけでもかなりのドル離れは起こると思います。

ユーロが誕生するまでのドル決済比率は75%、誕生後は60%、これらBRICS主要4か国とサウジアラビアやイランがお互いの通貨で決済するだけでドル決済は50%を切ってしまう可能性はかなり高いと思われれます。

そこで我が国としてはどうすればよいかという点ですが、これも金に答えがあるかもしれません。

日本の金準備はその経済規模に比べ、極端に低いことが以前から指摘されています。
アメリカ8100t 日本845t ドイツ3300t イタリア2400t フランス・ロシア2300t 中国2000t

こうなるといざ危機が来た時に一番ダメージを受けるのは我が国かもしれません。とはいっても今の政府では、急速に金準備を増やすという事は議論さえ出てきてませんので、個人で何とかするしかなさそうです。

個人で何とかする場合ですが、インフレのリスクヘッジとして総資産の1割ぐらいを金にしておくのが良いとされています。

あくまでもこれは値上がりや利益を確保するのが目的ではなく、他の資産の目減りをリスクヘッジするものです。

金が2倍に上がるという事は、実際はお金の価値が半分になったことを示すという事です。ただ個人で持つ場合、以前もお話しした様に、何かを金と交換するにしてもおつりはもらえない可能性がありますので、割高でも小さい単位で沢山持つ方が良いと思います。（しかも200万以下の場合は無記名）

しかし、あまり多くの金を持つことはお勧めできません。

何故なら預金封鎖の際には没収される可能性があるからです。

因みにその第一段階として、来年新円切り替えでタンス預金の炙り出しが始まります。

それではどうするか？

これは以前、大竹慎一さんと議論したことがあるのですが、「預金封鎖になっても株は没収されないだろう」

稼ぐ力を持つ会社の株を持っている方が、現金を持っているより安全で、外国株であればなお大丈夫、財務内容が良い外国の証券会社で購入すれば更に安全となります。

つまり金を持つのではなく、外国の証券会社で外国の金鉱株を買えばよいという事になります。

株は将来価値を表しますので、金鉱株は金の値上がりを上回る値上がりをしますし、保管リスクがあり、金利がつかない金に比べ、配当も貰えます。

本当に通貨が信用できなくなった場合、配当も金で出す金鉱株も出てくるかもしれませんね。

まあこの辺は私も専門家ではないので、しかるべき人に相談してみてください。

そうこう言っているうち、本日、鶏肉の最大輸出国であるブラジルの中の最大輸出州で鳥インフルエンザが原因で輸入禁止となりました。これだけで、日本が全世界から輸入して

いる鶏肉の30%が輸入停止となり、隣の2州でも出してしまうと50%以上が輸入停止となります。

今のうちに唐揚げ食べておいて下さいね。

今回は以上です。

ご一読頂き有難うございました。

ブラックスワン食糧保障

草間 弘人